

九



東京帝國大學教授上野英三郎

勲章加授ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

大正十四年五月二十三日

内閣總理大臣子爵加藤高明



内

閣



194

賞勳局第一二〇號

文勳第二八

十四年五月三十一日

大正十四年五月三十一日

内閣書記官

内閣書記官

内閣總理大臣

賞勳局總裁



東京帝國大學教授從四位勳三等上野英
三郎儀、明治三十三年農科大學講師トナ
リ同三十五年同大學助教授ニ任セラレ同
四十二年農業土木研究、為滿ニケ年間獨
逸及佛蘭西へ留學ヲ命セラレ同四十三年
歸朝同四十四年農科大學教授ニ任セラレ
農業土木學講座ヲ擔任シ大正八年工學

賞勳局

部土木工學科授業擔當ヲ命セラレ灌漑
排水論ヲ講シ今日ニ至ル此間蒞蓄セル學識
ヲ以テ當時猶幼稚ノ域ニアルヲ免カレサリシ耕
地整理及灌漑排水ニ關スル學理ノ發達ニ
努メ且之ヲ實地ニ應用シ山形縣酒田耕地
整理組合、八千町步愛知縣曾東同組合及
福岡縣三潯郡同組合、各參千町步等全國
各地ニ於ケル耕地整理七十萬町步ノ事業ハ
一トシテ參與セサルナク灌漑排水事業モ亦
直接間接同人ノ指導ニ俟タサルナシ其他朝

裏面あり

125

直井間井田入、計畧ニ於テサハナシ其由陣
一、ニテ參興ニサハナシ、對勘將不事業ヲ亦
各此ニ於テハ、據由並野ノ十萬田步ノ事業ハ、
蘇阿羅三郡縣同縣合、各々十田步事業全圖
並野縣合、八千田步、愛味縣會東同縣合、
發々且之ヲ實由ニ懸用、山并縣圖田林此
此並野及對勘將不ニ關スル事ヲ野ノ發々ニ
「以テ當部蘇由縣ノ地ニテハ、受テサリ、據
林不命ニ對シ、今日ニ至リ、此間高田ヨリ學識
時土木工學科、對業對當ニ命サレ、對勘將

對業土木學科、對勘將ニ對シ、大五八千工學
對勘同四十四千、對業土木學科、對勘將ニ對シ、
並及對勘將、對勘將ニ命サレ、同四十三千
四十一千、對業土木學科、對勘將ニ對シ、
「同三十五千、同大學、對勘將ニ對シ、
三府、對勘將ニ對シ、對勘將ニ對シ、
東京帝國大學、對勘將ニ對シ、對勘將ニ對シ、

内閣縣野大司、

實地調査



大正十四年五月二十三日

（印）

五月二十三日
正四位ニ叙セル

鮮ニ於ケル益沃、大正中央三水利組合ノ如キ
一萬町歩以上ノ事業ニ就テハ同人ノ盡力セル
所尠カラス斯ノ如ク同人ハ斯界ノ泰斗トシ
テ二十有二年ノ久シキニ亘リ本邦學術ノ進
歩ト育英トニ盡瘁セル功績洵ニ顯著ノ者
ニ候處目下病氣危篤ノ趣ニ付此際特ニ旭
日中綬章加授セラレ度此段允裁ヲ仰ク
追テ擬敘勲章ニ付テハ主務省ト協議
濟ニ有之候

賞 勲 局

裏面白紙

文勲第二八

大正拾四年五月廿參日

東大一一四六號

上野英三郎勲等進叙、件
右上奏書及進達候也

大正十四年五月二十二日

文部大臣岡田良平



内閣總理大臣子爵加藤高明殿

文 部 省

東京帝國大學教授從四位勲三等上野英三郎
叙勲二等授瑞寶章

右ハ明治二十八年七月東京帝國大學農
科大學農學科ヲ卒業シ更ニ農業土木
及農具研究ノ為大學院ニ入學シ同三
十三年大學院満期後直ニ農科大學講
師トナリ農學第二講座ニ属スル職務ヲ
擔當シ三十五年同大學助教授トナリ農
學第二講座ヲ擔當シ同四十一年農

文部省

業土木研究ノ為満ニヶ年間獨逸及佛
蘭西へ留學ヲ命セラレ四十三年歸朝
四十四年農科大學教授ニ任セラレ農業
土木學講座ヲ擔任シ大正二年十二月
農學博士ノ學位ヲ授與セラル大正八年
工學部土木工學科授業擔當ヲ命セラ
レ灌溉排水論ヲ講レ今日ニ至ル此ノ間
蒔蓄セル學識ヲ以テ當時猶幼稚ノ域
ニアルヲ免レワリレ耕地整理及灌溉排
水ニ関スル學理ノ發達ニ努メ且之ヲ實

地ニ應用シ山形縣酒田耕地整理組合
八千町步愛知縣曾東全組合及福岡
縣三潯郡全組合ノ各參千町步等全
國各地ニ於ケル耕地整理七十萬町步
事業ハ一トシテ參與セラルナク灌溉排水
事業モ亦直接間接同人ノ指導ニ俟
タラルハナシ今日耕地整理事業ノ隆盛
ヲ來セルハ主トシテ同人ノ力ニヨルモノトスル
モ敢テ溢美ニアラサルヘシ其他朝鮮及
臺灣ニ於ケル水利改良事業ニモ參與

文 部 省

セル所多ク朝鮮ニ於ケル益沃、大正中央
三水利組合ノ如キ一萬町步以上ノ事業
ニ就テハ同人ノ盡力セル所尠少ナラス
又同人ハ學生ヲ指導スルコト前後二十
有餘年頗ル懇切ヲ極メ殊ニ基礎學
課ニ對シテ力ヲ致シ耕地整理ニ關スル
理論ヲ十分理解セシムルニ努メ諄々學
生ヲ指導シテ倦マス同人ノ薰陶ヲ受ケ
タルモノ約二千ノ多キニ達セリ又同人ハ
農林省囑託朝鮮總督府囑託トシテ

耕地整理及灌溉排水事業ノ發達ニ盡
力シ其他臨時治水調査會臨時委員
朝鮮産業調査委員會委員トシテ貢
獻スル所極メテ大ナリ

斯ノ如ク同人ハ斯界ノ泰斗トシテ二十有
二年ノ久シキニ亘リ本邦學術ノ進歩ト育
英トニ盡瘁セル功績甚タ大ナリトス然ルニ
同人ハ目下病氣危篤ニ陥リ命且夕ニ迫ル
此際特ニ其功績ヲ録セラレ頭書ノ通り
勲等進叙ノ榮ヲ與ヘテレシコトヲ茲ニ

文 部 省

謹テ奏ス

大正十四年五月二十二日

文部大臣岡田良平



裏面白紙

東京帝國大學

上野英三郎氏著書目錄

有働良夫ト共著

土地改良論

吉光平ト共著

溜池築造法

耕地整理講義

農業土木學教科書

農業土木學

農業測量學

農具學教科書

以上外官廳、依託調査報告書等十冊以

上アリ

東京帝國大學 教授 上野英三郎

三重縣平民
明治四年十二月十日伊勢國一志郡本村ニ於テ生

年 號	月 日	學 業	官 職	賞 罰 等	當 該 官 衛 等
明治二八年	七月十日	帝國大學農科大學農學部科卒業			
同 年	同 日	農業土木及農具研究ノ爲大學院入學			
同二十九年	七月二十日	農業水利ニ關スル事項調査ヲ囑託ス			農事試験場
同 年	七月二十三日	千葉愛知岐阜三縣下巡回ヲ命ス			同 上
同三十一年	一月二十七日	淀川流域内用水路ニ關スル事項調査ヲ囑託ス			第五區土木監督署
同 年	十月三十一日	但手當トシテ年金九百圓支給			農商務省
同三十三年	四月十四日	農業教員講師ヲ囑託ス			東京帝國大學農科大學
履 歷 用 紙					
明治三十三年	四月十四日	手當一ヶ年金六百圓ヲ給ス			東京帝國大學農科大學
同 年	四月三十日	淀川流域内用水路ニ關スル事項調査ノ囑託ヲ免ス			第五區土木監督署
同三十三年	七月十日	大學院滿期			
同 年	八月十八日	東京帝國大學農科大學講師ヲ囑託ス			
同 年	八月十八日	農學第二講座ニ屬スル職務分擔ノ事			東京帝國大學
同 年	同日	農學第二講座ニ屬スル職務分擔ニ付手當一同上			
同三十四年	三月二十五日	個年金三百圓ヲ給ス			
同三十四年	三月二十五日	管内水利調査ヲ囑託ス			
同 年	四月十一日	但手當トシテ金百五十圓ヲ給ス			埼玉縣
同三十五年	三月三十一日	自今手當一ヶ年金貳百圓ヲ給ス			東京帝國大學
同 年	同日	任東京帝國大學農科大學助教授			
同 年	同日	敍高等官七等			

(乙)

同年	同日	本俸六級俸下賜	文部省
同年	同日	職務俸金三百圓下賜	同
同年	同日	農學第二講座分擔ヲ命ス 分擔書座職務俸金二百圓下賜	同
同三十七年	六月十日	敘從七位	
同三十六年	二月十七日	第五回内國勸業博覽會審査員官被仰付	内閣
	同日	第一部勤務ヲ命ス	轉務局會
同三十七年	三月二十七日	新潟縣知事ノ依頼ニ依リ學術上取調ノ爲 同縣下へ出張ヲ命ス	
	五月十三日	敘高等官六等	
	八月五日	敘正七位	
同三十八年	十月二十日	農務局勤務ヲ命ス	農商務省
同年	三月一日	免兼官 (農商務技師)	内閣
同年	同日	文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休	文部省
履歷用紙			
東京帝國大學			
		職ヲ命ス	
同年	三月十五日	本年三月二日付願私費留學ノ件許可ス	文部大臣
同年	三月二十日	本日獨逸へ向ケ出發	
明治四十年	六月十七日	俸給令改正ニ依リ八級俸相當	
同四十年	三月三十一日	農業土木學研究ノ爲滿二個年間獨國及佛國へ文部省 へ留學ヲ命ス	
同四十年	二月二十八日	休職滿期	
	三月八日	休職滿期ノ處在官七年ニ付俸給月三ヶ月	文部省
		半分下賜	
同四十二年	四月二十二日	歸朝	
同年	七月二十日	敘從六位	
同年	五月二十六日	任東京帝國大學農科大學助教授	
同年		敘高等官五等	

203

(乙)

同年	同日	本作六級俸下賜	文部省
同年	同日	職務俸金五百圓下賜	
同年	同日	農學第二講座分擔ヲ命ス	
同年	同日	分擔講座職務俸金四百圓下賜	
同四十四年	四月十四日	帝國農會主催全國農具展覽會審査長ヲ囑託	東京帝國大學
同四十四年	十一月二十六日	任東京帝國大學農科大學教授	農商務省
同年	同日	本俸九級俸下賜	文部省
同年	同日	農業工學講座擔任ヲ命ス	同
同四十五年	五月三十一日	從敍高等官四等	
同年	七月二十日	敍正六位	
大正二年	十二月二十六日	東京帝國大學總長ノ推薦ニ基キ明治三十	

履歴用紙

東京帝國大學

一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依	文部大臣
リ茲ニ農學博士ノ學位ヲ授ク	
東京大正博覽會審査官ヲ囑託ス	農商務省
從敍高等官三等	
實業學科教員夏期講習會講師ヲ囑託ス	文部省
敍從五位	
本俸八級俸下賜	文部省
實業學科教員講習會講師補助ヲ囑託ス	文部省
從敍高等官二等	
敍正五位	
賜本俸七級俸	文部省
耕地整理講習生學術實地指導ノ爲メ徳島	農商務省
勸勵四等授瑞寶章	

204

(乙)

大正七年	十二月二十一日	兼務勸業ニ付其價トシテ金百拾五圓下賜	文部省
大正八年	四月一日	官制改正	
大正八年	四月一日	俸給令改正	
同年	同日	賜本俸七級俸	文部省
同年	四月二十二日	畜産工藝博覽會審査官ヲ囑託ス	農商務省
同年	十一月三日	工部部土木工學科授業擔當ヲ命シ一箇年金	
大正十年	十一月三日	臨時治水調査會臨時委員ニ任命ス	東京帝國大學 内閣
大正十年	四月一日	土地改良事業指導獎勵ニ關スル事務ヲ囑託ス	朝鮮總督府
大正十年	五月十一日	朝鮮總督府政務總監ノ依頼ニ依リ學術上取	
大正十年	八月三十日	調査委員會委員ヲ囑託ス	東京帝國大學 朝鮮總督府
大正十年	十二月二十六日	敍高等官一等	
東京帝國大學			
履歴用紙			
大正十一年	一月三十日	敍從四位	
大正十一年	三月二十九日	敍勳三等授瑞寶章	
大正十一年	三月三十一日	賜本俸六級俸	文部省
大正十一年	四月十七日	平和記念東京展覽會審査官ヲ囑託ス	農商務省
大正十一年	六月二十五日	賜本俸五級俸	文部省

205